

入學試験の地獄

二日は試験地獄ともいえるべき日だろう。何故かと云うと、それは今更本校を志望する者に對しての大変な苦しみの日だからである。この地獄のエンマ様はいうまでもなく校長先生である。本校の入學試験は、普通の學校では面接しれないのに筆記試験まである。何故この様な事をするか、まずエンマ様の所へ行つて伺う事にしよう。「何故筆記試験をするか。」

「學校を作るには學問的に指導せねばならぬ。そしてよい生徒を育てるには筆記試験をしてその器能を調べねばならぬ。普通の學校の様に面接だけでは、その生徒の態度しかわからぬ。すなわち実力と態度の検査をせねばならぬ。学科試験なしでは、動物園を作る事は出来ませんが學校は作れません」と又の質問「奇附をどう受けわけは。」

「學校は奇附じやない。又、生徒の家庭は経済的に困つていて、して人間を育てたいとしても多くの奇附を販ると貧乏な人は入れないではないか」と、これが栄光のエンマ様との一問一答これじゃエンマさんにも似合わない人情深遠さるようだ。

栄光のレール

鉄道沿線は、電車が道をはずれぬ様にさして居ります。この様に土台となるものから鋼鉄が出来て居ります。これと同じものが栄光中学にもあります。しかし線路ではありません。それは、この學校を經營して居るイエスス会であります。ところがこのイエスス会は何から出来て居るのでしょうか。それは鋼鉄の様に強く堅い三つの管で成り立っています。

二月二日三人の神父様方は學校の聖堂で永遠の誓いを立てられた。即ち清貞・貞潔・従順の三つであります。清貞と云うのは、自己の所有するすべての物を手にさへけるのです。又懲も抑えるのです。貞潔と云うのは、結婚をせず純潔を守りとおすこととあります。従順とは世間でも云われ、行われて居ります。しかしこの場合は、もつと強い意志で自己の自由と云うものをすべて手にさへけてしまふことを誓います。これでは、まるで自己と云うものがなくなつてしまふではないでしょうか。しかしそれで良いのです。ローソクは、どうしてあの美しい光を出すのでしようか。ローソクは自分の体を作つて居る蠟をもやしなからあの美しい光を放つて居るのです。それと同じで、人間が神の御前により立派な価値のある者となるには、自分自身の慾求を捨て、自由を自覚し、神の御前に光栄を得るため、一番近く目をつむるこの道を行つて居るのです。榮光の學校はこのレールに乗つて脱線しない神の榮光を反射すべくつとめて居るのです。(24)

スポーツファンに快報

先達校長先生のお友達から沢山のスポーツ道具を戴いた。野球道具としてベース、バット、ソフトボールその他バスケケットボール及その道具バレーボール、ネット等である。(28)

新デニスコート

下はセメント廻りに釘金ネットの素晴らしいコートが出来た。もうラインを引けば出来るばかりである。早く使用したい。(多)

單の名人

一月にさいか壁で書初展覧會が開かれた。本校からは一二年組内山靖人君がこれに出品して優状を授けられた。(24)

栄光山の風

冬の朝雪が降り、教室から出て来ないで、朝孔のベルがなり、あわて、運動場へころがり込むという事はおそろしく諸君の誰かが経験したことでしよう。さて二三週前のある朝二年生数人が御多分にもれず、さんさんと教室に降り注ぐ冬の太陽光線を楽しんで居た。この時朝孔のベルが鳴つた。

すわこごとと彼等は勇躍運動場へ突進したが時すでに遅し、二へ立つとれ!!と天狗の一喝と三人に彼等は立ちすくんでしまつた。普段はおとなしい天狗様がどなりつけたのだから、いやはやなんとも云えぬイゲンが囁わつて居た。彼等は出席簿へ遅刻の印をつけられた。

それから天狗一世一代の名詞が始まつた。「朝學校へ来るとカバンを教室へ置いて運動場へ出るのは本校の習慣だ。教室に残つてベルが鳴つても直ぐないから早く朝會に出るのは遅刻だ。栄光二コースの投票を見ると、

志願者の受附

入學願書受付の第一日である。流石に、奇しき横之つた志願者は一度にどつと押寄つて一昔來り争つたが、二A野崎君の希望者が馳せ参じてナムパーワンを獲得した。続いてぞくぞく詰めてこの日は遂に六十四名の願書を受附けた。そして次の日からは毎日二三十名志願者が見えて居るから、相當の数に上るであらう。又、区域も広範囲にわたつていて、東京都などが

多くの生徒は「學校は僕等の樂園だ」と思つた。勝手な事さしてもいいという事で、お前達の樂園だと思つたと大言無二だ。學校の習慣を守らうという気がないのは不良だ。學校はそれを罰する。日本では体罰は禁ぜられて居る。しかし自由の國である米國では生徒を罰するのにお説教とスパンキング(訓育の罰をナデること)とどちらがいいかとハイスクールの生徒を調査したら八十%は訓育の罰をナデる方がいいと答へたんだ。これこそ男らしい受持だ。今日の遅刻者は早く學校へ来たかもしれないが朝會に遅れた。心な不良の態度はなおして貰ひたい。一時向目には授業に行かないで運動場で作業しながら栄光の生徒としてよく反省して居る」とまあこんなものでした。名詞子が終ると遅刻者はようやく神通力を細かされたことと天狗の星が山突きまわされながら引かれていつた。(28)

らも愛人が来た。然し東京都内からは服らないことになつてい

る中には熱心な人があつて、私の家は、東京と云つても、川崎の對岸で橋一つ渡ればよいのだから是非志願して頂きたい、もしどうしてもいけない場合は橋渡へ移住しても良いなど、と粘りの強い人も来た。又ある日、折柄休養所で生徒は、わあわあ騒いでいたと急に水を行つた様に静かになつたので、頭書を持つて来た人は目を睨つてゐる、そこで「本校の生徒は、直交時は、あの大陸を走っていますが一たんベルが鳴るとあの様に立ちますよ」と云つて、しばし騒動の体であつたが、「ほんとうに良いですね。この子もどうして思はれた。毎日多数の来訪者があつた、皆一様に褒められる言葉は、ほんとうに良い所ですね、またこの生徒さんの熊のよいのに驚きました、今時こんな学校のあるのが不思議の極です」と、げに懇然の語で、今時栄光の外には確かにない、かくて栄光は今や世間の向世の的である。同時に又在校生の一挙一動も、世人の注目の的である。

氣象台

(24) (記)

教育方針等に就いて全く自由であるから、学校の特徴を大いに發揮させて自立校で出来なさいと、派手な教育を作り上げねばならぬ、多くの私立校は何らかの理由で、自分の自由を捨て、入學試験を唯の面合だけにして、且つ同日にする事は、甚だ遺憾だ、本校はあくまで私立学校の自由をもつて栄光にあふめし、子供を入学させるに適當な試験をする、獲りです、私立学校はこの点で誰にも圧迫される事が出来ない、これこそ健全な民主主義である、と云ふ面白い内容だつた。

今度、栄光の集山の氣象台を學校で使用する事になつた。あの氣象台は、戦争前及び戦争中使用していたもので、いくぶん設備がそのまゝ、このころのころ、學校の用に再び使用する事になり、この氣象台の観測機構は、照力計(光電管)と、手を持つて計るもの(一種)、氣圧計、指針面、湿度計、露雨計、風力発針機、海の水の温度を計る温度計、最高最低温度計、雨量計等で、これらの設備の完成までには、三日の中前位になるだらう。

海豚閣下來校

(26) (記)

校長先生は、將來、氣象台を作りたいとおっしゃる、この節は、毎日朝早く又は、午後おとくまで、観測するのである、將來は、國中の各地の氣象台と連絡したいという事である、栄光氣象台の前途は、かゞやかし、

ないが、罰を悲しまずに受け、罪は大赦せらる。この事について生徒に聞いてみると、かわいそうに、というのと、「仕方ない」といふのが大部分をしめる、他に「又校長にもどさせてやりなさい」といふ意見もあるが、一応もつとも、原因は始まりの邊の農中のおしやべりがこの度のことによつて生徒も又及びから良い事をするという事に努力しているよつである。

驛の目

(28) (記)

栄光の大部分の生徒は、駅と密接な關係がある、駅は十年の如く、二とく、生徒の様子を常に、よく理解している。そこで、台線田浦駅の目のするどさを、一つ助役さんによつてうかがつてみよう。

反對に我が母校の誇りとする、あつたはつ、けて、天狗の驕のまます成長することこそ望んでやまない。

生徒の聲

(27) (記)

△フエアプレイを以つて、マ近頃ピンポンが非常に盛つて来た。これはよいことである。しかしピンポンをしてゐる者が自分さえとくまればよいという考えを持つてゐると思はれる場合が少なくない。このように考えを固めて、もつと楽しい遊びにしよつてはないか。

自由といふのは責任のある事、後世をたすけたいよつたのは自由を理解してない者だ。今一度一人の級長が代つて、もしかれらに准んで自分から良い事をするといふ心がもう少しあつたら、級全体をささぐりて、このよつた事は他にほつた事も

海豚閣下の御來校は、一月十九日午後三時頃、山本先生によつて、発見された。海豚閣下がどうして我が校まで来られたか疑問であるが、我が校の生徒と会えないうちに、命を引きとつての、閣下にしても、さて悲しかつたをあらわして閣下は、今頃はもう人間様のお腹にあるとの事。

父母にお説教

(25) (先生)

一月四日父兄会があつた。先本校長先生のお話があつた。「中学三年に義務教育になつた今日、私立校の使命は大きい、自立の學校と通つて私立校は生徒募集

自由といふのは責任のある事、後世をたすけたいよつたのは自由を理解してない者だ。今一度一人の級長が代つて、もしかれらに准んで自分から良い事をするといふ心がもう少しあつたら、級全体をささぐりて、このよつた事は他にほつた事も

海豚閣下の御來校は、一月十九日午後三時頃、山本先生によつて、発見された。海豚閣下がどうして我が校まで来られたか疑問であるが、我が校の生徒と会えないうちに、命を引きとつての、閣下にしても、さて悲しかつたをあらわして閣下は、今頃はもう人間様のお腹にあるとの事。